

職業務体制変更に伴う効率化に反対しよう!

私たち東京地区分会は8月28日京橋区民館において、組合員・OB・来賓を含めて21人の参加で第25回分会大会を開催しました。廣島副分会長の司会で始まり、丸山執行委員が座長として大会をリードしました。

佐藤分会長はあいさつ ①東京駅営業三科の業務体制変更の動きにふれ、会社が言う「より良い業務体制を検討」は会社にとっての良い体制ではなく、社員にとっての良い体制でなければならない。他労組の仲間と情報共有し運動をつくる。還流の仲間との交流を進め、地本・東一運分会と分会所属問題を話し合う。②戦争法案は「いつでも・どこでも・米国の手先となって戦争する」ためのもので反対していこう。原発再稼働・TPP・秘密保護法…戦争法案はすべて3年前に出されたアーミテージ・ナイ報告書に書かれている通りに進んでいる。8月30日国会包囲デモに参加しよう。③たしろ応援プロでの活動を強化する。④今日の分会大会名で辺野古平和基金へのカンパを取り組もう。

来賓として土川地本副委員長・木下本部書記長・板倉車両所分会・佐藤東一運執行委員・内村東二運書記長からあいさつをもらいました。

退職した人の要員補充がない? 管理者の社員イジメに抗議!

質疑で出された意見は「営業3科では退職した人の要員補充がない。第7ホームで輸送担当者がパソコン入力しているが入力ミスが多く、修正作業が余計にかかる。テレセンからの電話対応要請が多すぎ、対応するのに2~3日あとになることもある。」「車椅子業務では仕事を回せる人が限られ、食事時間も普通にとれない。」「OBは年金生活で経済的に厳しい」「私傷病で3年たてば、無給となる」「会社は列車火災対策で、改札で不審者・不審物を防げと言ってるが、改札には一人しかいなく無理なことを社員に押し付けている。」「会社は遅刻やミスで社員に退職勧奨している。」

地本杉沢書記長から感想をもらい「運輸所では出勤2分まえの社員に、遅刻防止タスキをかけさせ直前に立たせる事態があり、管理者に抗議して止めさせた。」

管野書記長はまとめとして「還流の仲間に気持ちの上で楽をさせる。」「他労組は会社の退職強要を認め、背中を押している。他労組組合員にも声をかけていく。」「たしろ応援プロの取り組みを強化しよう。」

新たな執行体制

執行委員長 管野正広 副委員長 中島敏彦 書記長 丸山真一
執行委員 佐藤雅巳 廣島勝也 会計監査 神保亨

*皆さんから頂いた辺野古平和基金カンパは辺野古基金事務局に振込ました。ご協力ありがとうございました。